

7. その他

1) 市政等関連

(具体的な意見や質問) **【堀田公民館】**

副市長の2人体制は、多いと思う。
1人でいいのではないか。

(議会として考え方や回答)

現在は、1人体制です。

(別府市の回答及び対応状況) <総務部>

今後市政の重要課題により2名体制となる場合も考えられますが、現在は1名体制としております。

(具体的な意見や質問) **【古市公民館】**

人口の減少に伴い、水道料金の値上げを行っている自治体があると聞く。
人口減少に伴う、地方自治体の問題点を市民に積極的に知らせるべきだ。

(議会として考え方や回答)

今回の対話集会は、議会と市民の方の対話を通じて、議会活動を活性化させることを目的としています。

今後、人口減少に伴う自治体運営に対して、不安があることを行政(執行部)にお伝えします。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

人口減少は全国的な問題となっており、将来において労働人口の減少、税収の減少、扶助費の増大、地域コミュニティの衰退などが予想されます。

市としては、現在の住民サービスをなるべく低下させないように努めていきたいと考えていますが、少子高齢化による人口構成の変化など社会情勢に対応した行政運営が必要になります。行政運営について市民の理解が得られるよう、説明責任を果たすとともに、ご意見を十分伺っていきたいと思います。

(具体的な意見や質問) **【中須賀公民館】**

今後、少子化や高齢化社会が加速する中で、民生費等が増加して財政が圧迫されると考えている。

今後、市の財政状況が厳しくなる中で、市民も選挙の時だけでなく、日常から行政や議会を監視する必要がある。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

今後、少子化に伴う人口減少により、自治体が崩壊する危機感を持っている。

財政状況も危機的状況に陥ると考えている。

公共施設の維持管理についても、民間活力を積極的に活用して、抜本的に見直すべきだ。

財政状況が厳しい中で、職員の新規採用を行っているのはどういうことか。

（議会として考え方や回答）

人口減少は、避けて通れないのが現実です。

市税収入が減少するのに対して、福祉関連費は増加の一途をたどることは避けられません。

ゴミ収集の民間委託を勧めていく中で、清掃業務員の採用を行っていることは、公費の二重投資と考えます。

新規の採用は、約3億円の公金を投資することになると認識していただきたい。

（別府市の回答及び対応状況） <総務部>

平成24年3月に第2次別府市定員適正化計画を策定し、平成24年度～平成33年度にかけて職員数を13%削減（水道局除く）する目標を掲げ、職種毎の人員見直し、年齢の平準化を考慮し毎年度採用抑制を行い、職員数の減少を図っています。

ゴミ収集について、民間に委託した業務と直営で行っている業務は、異なる業務を行っております。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

扇山ゴルフ場は、韓国の企業が経営していると聞く。

今回の附帯決議の中で、「経営改善」とあるが、どのような経営状況にあるのか。

別府市は、支援しなければならないのか。

（議会として考え方や回答）

市有地をゴルフ場として、企業に貸し付けています。

本来の貸付金額では、ゴルフ場の経営が成り立たないとの申し出により、減額して貸付を行うことの議決を行いました。

その条件として、減額を頼りにしない経営改善を行うこと。今回の減額が最後であることです。

この条件が履行されない場合は、経営権の移転も含めて考えなければならないといったものです。

市民の貴重な財産ですので、議会としても重く受け止めています。

（別府市の回答及び対応状況）<総務部>

株式会社 別府扇山ゴルフ場の過去3年間の経営状況は、平成23年、24年と東日本大震災の影響等で入場者が減少するとともに、客単価が低下し、経営が悪化しました。

平成25年は前年と比べて入場者、売上額が増加した結果、経常赤字が減少し、経営は改善傾向にあると考えています。

扇山ゴルフ場は市街地近郊にあるゴルフ場として価値は高く、観光面での寄与もあり、ゴルフ場利用税交付金や市税の納付、市内居住者の雇用の確保や経済活動を通じての経済波及効果があると考えております。

今回、平成26年4月から市有地の減額貸付を行うことは、扇山ゴルフ場の事業性や採算性等を客観的に検討したうえで、今後3年間に限り行うものであり、会社が自らの責任で抜本的な経営改善を行い、3年後には市に支援を求めない自立経営を行うことを前提にしています。

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

振興センターの理事に、市の職員OBが配置されている。

議会としても、チェック機能を重視して、組織のためになる人事配置を行ってほしい。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

別府市総合振興センターの役員は7名で、理事長、専務理事、理事(3名)、監事で構成されており、この内理事長と専務理事が市役所の退職者です。

また、理事には市議会議員も2名就任しています。

振興センターは昭和39年に別府市が100%出資して設立された第三セクターであり、収支状況については、議会に報告義務があります。

主な業務として、温泉給湯事業や市公の施設の指定管理者を行っており、市との連携が大変重要になります。

平成25年4月に一般財団法人化するなど、経営努力をしていますが、今後も振興センターの健全な経営、運営の推進に努めます。

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

市役所の窓口において、仕事に詳しい職員が少なくなっていると思う。

課長も、質問に対する即答できない。

しっかりした、人材の育成を行ってほしい。

(別府市の回答及び対応状況) <総務部>

業務内容について、分かりやすく丁寧な説明ができるよう今後も指導してまいります。

(具体的な意見や質問) 【ふれあい広場・サザンクロス】

地方から大都市へ人口の流出が進んだ場合、20代から30代の人口が半分になる自治体が約半数におよぶと聞く。

自治体崩壊が懸念される。

少子化対策は、自治体存続の必須課題であり、議会としても強い認識をもってほしい。

(議会として考え方は回答)

南校区の高齢者率や単身者率は、非常に高いと認識しています。

出生率を高めることは、非常に難しい問題と捉えています。

専門的な機関の発表によると、人口の減少は食い止められないと報告されています。

しかし、南校区には「旧南小学校跡地」があり、定住の促進の可能性がある財産があります。

議会としても、市有財産利活用推進特別委員会を設置しました。

今後の遊休資産の利活用を含めて、早い段階で協議したいと考えています。

(別府市の回答及び対応状況) <福祉保健部>

少子化の問題は、個人の思想・価値観に関わる問題を含んでいる一方で、地方自治体の経済システムへの影響にも深く関わる問題であることを認識しております。

別府市では「べっぴん子ども次世代育成支援行動計画」を策定し、現在この計画に沿って少子化対策等のための様々な取り組みを推進しております。

2) 財政関連

(具体的な意見や質問) 【堀田公民館】

将来、別府市は赤字債権団体になるのではないかとの危機感をもっている。
今後の人口減少により、財政収支のバランスが成り立たなくなるのではないか。
市民と議会と行政が、今後のことを本気で考えなければならないのではないか。
危機感が伝わってこない。

(議会として考え方や回答)

別府市の経常収支比率は、低い方ではないと認識しています。
しかし、公債費比率を見ると県下では、非常に低い数値です。
支出を抑えることは必要なことと考えていますが、市民生活を圧迫するような経費の削減は、収支バランスを考えて極力避けなければなりません。
現時点において、すぐに赤字債権団体になるようなことは、議会としても考えておりません。
また、そのような状況にならないためにも、行政と議会が車の両輪となり、自治体運営を行う必要があると考えています。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

平成19年6月の「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」制定により、従来の赤字再建団体の制度が改正され、赤字が一定額を超え財政状況が悪化すると「早期健全化団体」、さらに悪化し破たん状態となると、「財政再生団体」とされ、国の管理下での財政再生が義務付けられます。

こうした財政状況にならないように、毎年度、この法律に基づき、健全度を示す指標を議会に報告していますが、現状では、財政悪化の基準を大幅に下回っております。

しかしながら、今後の人口減少に伴い、税収の伸びを期待することが難しい中で、増え続ける社会保障関係費や少子高齢化対策、公共施設の老朽化対策などの経費を確保していかなければならないことから、中期的には収支不足が見込まれ、財政運営は厳しくなっていくことが予測されます。

このような将来の財政見通しについては、毎年11月に市のホームページに公表しています。

財政状況の悪化を避け、中長期的に安定した財政運営を行うためには、税収の動向に合わせた行政サービスの適正化、行政の役割の見直し、人口減少により利用減が見込まれる公共施設の再編など、人口減少・少子高齢化という社会構造の変化を見越して、適正規模の効率的な財政運営をしていかなければなりません。

こうした課題に対して、これまでも行財政改革による人件費等の縮減など財政運営の効率化に取り組んでいますが、今後も、財政状況を公表することにより議会及び市民と問題意識を共有しながら、社会構造の変化に対応した健全な財政運営に引き続き取り組んでいきたいと考えております。

（具体的な意見や質問） 【中須賀公民館】

財政のバランスシートは、自治体の経営指標になるものと考えている。
別府市では作っているのか。

（議会として考え方は回答）

収支を比較したバランスシートは、一部の自治体では導入されていますが、別府市では、決算カードとして公表しています。

ご指摘のバランスシートは、自治体の経営指標として、効果的とも聞いていますので、議会としても、行政（執行部）に問題定義するとともに、研究していきたいと考えています。

（別府市の回答及び対応状況）<企画部>

企業会計に準じたバランスシートは、市の通常の会計で把握しにくい資産・負債などや減価償却費などのコストを示すことにより、財政状況をより客観的に示すとともに、資産・債務の適のストック情報正管理など中・長期的な視点に立った健全な財政運営に資するものとして、現行の会計制度を補完するものです。

本市では、国の作成基準に沿って、平成22年度決算からバランスシートを含めた財務諸表を作成し、ホームページに公表しています。

来年には、国が地方自治体間の財務状況を比較しやすいように作成基準を見直すこととなっており、現在、作成に向け準備をしていますが、今後とも（現行の）官庁会計制度の決算とともに、企業会計に準じたバランスシートなどの財務諸表を公表し、財政状況をわかりやすく説明していきたいと思えます。

（具体的な意見や質問） 【小坂公民館】

別府市の財政状況における今後の見通しはどうなっているのか。

（議会として考え方や回答）

議会としても、厳しいものになると考えています。

行政（執行部）においても、人件費等の削減により、財政の健全化に取り組んでいます。

しかし、職員数の減少は、市民サービスの低下につながる原因にも成りかねますので、地域との共同等を考えながら、サービスの質の維持に努めることが大切と考えています。

（別府市の回答及び対応状況） <企画部>

これまで行財政改革により職員人件費を10年前と比較して約15億円削減するなど経費の節減に努めてきました。

また、国の政策転換で地方交付税が復元したこともあり、高齢者福祉や児童福祉などの扶助費が増え続けるなか、黒字を維持するとともに、突発的な災害の発生や市税の大幅な減収などに対応するため、財政調整用基金を約98億円積立てて、不測の事態に備えています。

毎年、法律に基づき、公表している財政の健全度を示す指標は、基準を大幅に下回り、現状は直ちに行政サービスに支障をきたすような財政状況ではありません。

しかしながら、人口減少や少子高齢化の進行により、市税の減収が見込まれる一方で、社会保障費の増加や全国的に問題となっている老朽化した公共施設の改修費や維持管理コストが増大し、財政需要が増加していきます。

こうした将来の財政見通しは、毎年11月、市のホームページに「財政収支の中期見通し」として公表していますが、中期的には収支の悪化から5年間で基金を70億円程度取り崩す見込みで、財政運営は厳しくなっていくと予測しています。

このような中で今後も行財政改革に取り組みながら、限られた財源の重点的かつ効率的な配分や経費の節減に努め、財政調整の基金を一定程度維持しながら、効率的かつ安定的な財政運営を行っていくとともに、予算・決算や中期の財政見通しなどをわかりやすく公表し、財政の状況を市民の皆さまにお知らせしていきたいと思えます。

(具体的な意見や質問) 【小坂公民館】

入湯税の1割でも2割でも、別府市活性化のために再投資すべきだ。
入湯税の使い方をもっと明確にすべきだ。

(議会として考え方は回答)

入湯税を市民のみなさんに、還元することは、議論された経緯があります。
ご意見は、行政(執行部)にお伝えいたします。

(別府市の回答及び対応状況) <企画部>

入湯税は、法律でその用途が特定される目的税で、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設等の整備、観光の振興に使うこととされています。

本市では、これまでONSENツーリズムを推進するため観光振興や泉源の保護を中心に使ってきました。

平成26年度は、主に観光客誘致事業や泉源設備の保全のほか、消防防災無線デジタル化等消防施設の整備などに使うこととしています。

この用途については、毎年度、予算説明書で示し、議会において審議していただいています。これからも入湯税を財源とする施策の効果を検証し、より効果的な使い方を検討するとともに、その用途についてはわかりやすい方法で説明していきたいと思いません。

3) その他

(具体的な意見や質問) 【ふれあい広場・サザンクロス】

松原公園の遊具が使用禁止になっている。

使用禁止の張り紙がはがれており、子供が使用すると危険だ。

このような小さなことから、住民の安全対策に取り組んでほしい。

(議会として考え方または回答)

ご意見として、行政(執行部)にお伝えしてまいります。

(別府市の回答及び対応状況) <建設部>

公園の遊具等につきましては、点検等により不具合が発見された際、補修をおこなうまでの間、使用禁止にさせて頂く場合があります。

可能な限り速やかに補修をおこなうよう努めると共に、ご指摘のありました、使用禁止中の安全管理につきましても徹底してまいりたいと思います。
